



発行日：2019年5月15日／季刊第124号  
 編集・発行：神奈川県職労連退職者こだま会  
 〒231-8588 横浜市中区日本大通り1県庁地下1階  
 発行人：加瀬文隆  
 ☎045 (212) 3179 (代) Fax 045 (212) 3178 (代)  
 Eメール kodama@kodamakai.sakura.ne.jp  
 URL http://tekuteku.jeez.jp



こだま旬会有志らが沖縄吟行(2月6日～9日)(関連8面) 辺野古の座り込みテント前で

沖縄へ  
 美ら海に  
 七万の杭  
 春寒し

### こだま会役員の公募について

こだま会役員選考委員会委員長 菊田 勲

当会の役員は、会則12条により総会で選出することになっていますが、恒例により幹事会のもとに役員選考委員会を設置し、役員を公募したうえで、総会に提案します。下記の要領に基づいて、積極的にご応募くださるようお願いいたします。

**記**

- 1 応募締切：6月3日(月)
- 2 応募方法：下記の内容を記載のうえ、FAXまたはEメールで応募して下さい。  
①氏名 ②住所 ③連絡先(電話・FAX・Eメール)
- 3 応募先：「こだま会役員選考委員会」  
FAX番号：045 (212) 3178  
Eメールアドレス  
kodama@kodamakai.sakura.ne.jp
- 4 任期：2年(2019年総会～2021年総会)
- 5 役員の数：現行の体制を基準
- 6 幹事会：年6回程度(年4回の会報発送作業を幹事会の前に実施)。日常業務は事務局を中心に行っています。役員は相互に協力し、会の業務を分担、執行します。
- 7 問合せ先：こだま会事務所  
(火曜日10時～16時)  
TEL045 (212) 3179  
FAX045 (212) 3178

神奈川県  
職 労 連

### 退職者 第35回定期総会のご案内

会場は昨年と同じ「県立地球市民かながわプラザ」(あーすぷらざ)

**とき** 6月21日(金) 10時受付 10時30分開会～12時30分  
**ところ** 県立地球市民かながわプラザ(あーすぷらざ) 1階会議室

〈JR根岸線「本郷台駅」前〉  
 横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 045 (896) 2121

みなさん、いかがお過ごしですか。退職者こだま会第35回定期総会を開きます。毎年、たくさんの会員がつどいます。この1年をふりかえり、新しい運動方針をみんなでつくっていきましょう。

#### 総会終了後は懇親会で交流

総会終了後、12時45分から14時30分まで、総会会場内にあるレストラン「メルヘン」で懇親会を開きます。軽食をとりながら交流を深め、楽しいひとときをすごしましょう(会費2000円)。

なお、今年度の「長寿祝い制度」該当者(4月1日現在77歳)のみなさんは、招待させていただきます。  
**■出欠は同封のハガキで、6月3日(月)必着でお願いします。**



\*お知らせ…こだま会の事務所は県庁本庁舎地下1階です。毎週火曜日、10時～16時に開所しています。

# 神奈川県 退職者こだま会第35回定期総会議案

〔第1号議案〕

## 2018年度経過・会計報告

### この1年間の活動

引き続き、組織強化やてく・テクの会、趣味の会の活動、平和と民主主義を守る活動に積極的にとりくみました。

#### 1 交流の場と仲間づくり

(1) こだま会文化レク企画「てく・テクの会」

「満蒙開拓平和記念館&昼神温泉バスツアー」(9月27~28日・24人)では、実際に家族で満州に行き、命からがら帰国した語り部さんの話を聞きました。満蒙開拓は、満蒙制圧と対ソ国防衛を目的にし、その結果、多くの民間人が戦争の犠牲になったことが実感できました。このツアーには満州引揚者の会員の参加もありました。日帰り企画では、「生麦事件の史跡とビール工場見学」(11月9日・14人)、「町田市自由民権資料館見学&花見」(3月28日・18人)を実施しました。

#### (2) 「趣味の会」のとりくみ

① 歴史教室(講義・散策)  
散策では、金子信男会員を講師に「県北の歴史を訪ねる」(5月31日・14人)と森敏晴さん(三浦一族研究会)を講師に「三浦一族ゆかりの地

元を歩くパート2」(10月25日・10人)を実施。また、3月7日に総会と講義「古代のロマンにせまる(多摩川公園古墳)」(お話・吉田綾子会員)を行い、総会で新役員と年間計画を決めました。

#### ② 俳句サークル「こだま句会」

毎月第2木曜日に定例会を実施。俳人協会の太田土男先生を囲み、それぞれ4句を提出し研鑽に励んでいます。会員も増えていきます。また有志で沖縄吟行を新俳句人連盟神奈川県支部有志と合同で実施しました。

#### ③ 食文化を楽しむ会(薬膳料理)

亀井禎子会員の指導で「風邪予防の薬膳料理」(12月6日・7人)を実施。「さつまいもご飯」など7品に挑戦。12月8日の開戦記念日の前でもあり、疎開時の食の話が交わされ、「平和であってこそおいしい食事ができる」と実感できました。

#### ④ 楽しい料理教室

「相模湾釣りがて魚の料理」(11月29日・12人)を飯塚武弘会員の指導で実施。新鮮なあま鯛などの刺身、キノコの当座煮づくりに挑戦。三枚おろしや出汁の作り方などを学びました。

#### 2 福利厚生活動

##### (1) 長寿祝い制度

4月1日現在77歳の48人が対象で、お祝いのギフトカードを贈り、総会後の懇親会に招待しました。

(2) 共済・保険・人間ドック事業  
火災共済などの共済事業に加え、2014年度から「人間ドック」事業を導入し、定着と事業の拡大に努力しています。県内4医療機関の協力を得、43人の受診者があり、安く利用できると喜ばれています。

3 高齢者が安心して暮らせる社会へ  
「75歳以上の医療費負担2倍化に反対する請願」(255筆)と「医療・介護の充実を求める署名」(247筆)にとりくみました。

4 県民本位の県政をめざして  
県知事選挙では、確認団体である「かながわReBorn」へ「平和で明るい神奈川県政をつくる会」として参加し、岸牧子候補の勝利のために「こだま会報」への掲載や、有志で証紙貼り作業などを行いました。当選には至りませんでした。70万を超える票(過去最高)を獲得しました。

5 いのちとくらし、平和と民主主義を守る運動  
(1) 「戦争法」の廃止を求める行動  
2015年9月19日の「戦争法強行採決」以降、「総がかり行動実行委員会」が呼びかける19日国会行動等に毎月参加、当会から毎回10人前後の会員が参加しています。戦争法強行可決から3年目の9月19日、日比谷野外音楽堂での抗議集会には20人が参加し、戦争法廃止を訴えました。

(2) 憲法改悪反対のとりくみ  
「安倍9条改憲NO! 3000万人」署名(424筆)にとりくみ

した。5月3日の憲法集会(有明・東京臨海防災公園など)に参加。また、神奈川県職員九条の会と連携し、総会&学習会(6月2日・30人)、「横田基地ウォッチング」(9月15日・10人)や「平和のつどい」(12月8日・16人)などに参加しました。

(3) 民主団体(上部団体含む)との連携  
全国自治体退職者会連絡会、神奈川県自治労連退職者会、神奈川県高齢期運動連絡会に役員を送り、諸行動に参加しました。

① 日本高齢者大会(11月25~26日、熱海市・3人)。② 全国自治体退職者連絡会総会(8月25日、大阪市・2人)。③ 神奈川県自治労連退職者会総会(10月11日・11人)。

(4) 「鎌倉市政を市民と働く仲間に取り戻す会」への支援  
同会の行動提起に応え、県労働委員会・中央労働委員会傍聴などに参加。7月19日の中央労働委員会で、和解が成立しました。

6 「手づくり文化祭」(神奈川県自治労連退職者会主催)への参加  
横浜市会館で10月27日に開催。参加者は250人(内こだま会30人)を超え、大盛況。当会からは、ギター弾き語り、カラオケ、フラダンス、詩の朗読など7人の出演者と、俳句、川柳、書、絵画、絵手紙、木象眼、鎌倉彫、刺繍、タペストリーなど37人が出品。他の退職者会との交流も深めました。また、看護師による血圧・体脂肪測定も好評でした。

### 2018(平成30)年度一般会計収支報告

(2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位:円)

(単位:円)

収 入				支 出			
項 目	予算額	収入額	摘 要	項 目	予算額	支出額	摘 要
年 会 費	90,000	93,000	3,000円×31人	事務局費	380,000	335,984	事務局運営費
終 身 会 費	400,000	300,000	25,000円×12人	行 動 費	180,000	196,330	高齢者大会・自治労連関連
県職労連交付金	554,000	470,000		会 報 費	1,000,000	977,774	会報発行費
共済助成費	1,150,000	1,143,940	全労済事務取り扱等	総 会 費	135,000	186,000	総会経費
雑 収 入	77,199	115,885	県退職者会からの 行動費収入・利息等	会 議 費	420,000	297,760	幹事会・事務局会議費等
繰 入 金	330,000	330,000	積立金会計より	通 信 費	20,000	43,258	
寄 付 金	1,000	28,000	総会祝金等	長寿祝金等	164,000	158,400	対象者48人
前年度繰越金	279,641	279,641		負 担 金	60,000	60,000	県退職者会・手づくり文化祭
合 計	2,881,840	2,760,466		繰 出 金	400,000	300,000	積立金会計への繰出し
				予 備 費	122,840	0	
				次年度繰越金	0	204,960	
				合 計	2,881,840	2,760,466	

7 会報・ホームページの充実  
 会報編集委員会は7人の体制で企画・編集を行い、新しい書き手の発掘など紙面の充実にとりくみ、年4回定期発行しました。総会報告掲載号の『せいかつ短信』は、203人の声が掲載され、会員相互の情報交換の場として活用されています。  
 ホームページは、リニューアルし、行事予告など迅速な更新と内容の充

### 2018(平成30)年度積立金会計収支報告

(2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位:円)

(単位:円)

収 入				支 出			
項 目	予算額	収入額	摘 要	項 目	予算額	支出額	摘 要
前年度繰越金	15,796,017	15,796,017		本年度支出	330,000	330,000	一般会計へ長 寿祝金等
本年度収入	400,700	300,589		次年度繰越金	15,866,717	15,766,606	
内 訳	積立金	(400,000)	(300,000)	一般会計より 終身会費 収入分	合 計	16,196,717	16,096,606
	利 息	(700)	(589)				
合 計	16,196,717	16,096,606					

8 会員の拡大と会の運営  
 2019年3月末現在の会員は1283人です。引き続き組織強化を重点に位置づけ、退職者説明会や支部の協力、会員同士のつながり、声かけ等を積極的にとりくみました。  
 (2)会の運営  
 10月に本庁舎地下1階に事務所が

### 会計監査報告

#### 会計監査報告

2019年4月16日

神奈川県職労連退職者こだま会  
代表幹事 加瀬 文隆 様

2019年4月16日、こだま会事務室において2018年度一般会計及び2018年度積立金会計について、それぞれの会計帳簿、収支証拠書類、預金通帳等の監査を実施したところ、適正に執行されていることを認めます。

会計監査 岩柳良雄 (印)  
 会計監査 谷村 寛 (印)

1 国民のくらしと国政の動き  
 (1) 安倍政権の暴走と国民の運動  
 安倍自公政権は、この間日本を「戦争する国」にするための法整備を強行してきました。そして、2020年に新憲法施行をめざすとし、自民党は新たに9条の2を設け自衛隊を明記する「改正」案をまとめ、昨年の国会での改憲発議を企てましたが、市民と野党共闘の力で阻止しました。しかし安倍首相は1月6日のNHKインタビューで、2020年に新憲法を施行する「気持ちは全く

### I 私たちをとりまく情勢

#### 2019年度活動方針(案)

#### 〈第2号議案〉

移転。毎週火曜日(10時～16時)に事務局員が交代で詰め、四役・事務局会議(月1回)、幹事会(6回)……

を再開。役員全員が専門部や趣味の会に所属し、運動の活性化をはかりました。  
 ……  
 変わりに」と、年頭から改憲への執念を語っています。  
 さらに、国会での相次ぐ強行採決、沖縄の民意(県知事選挙、県民投票)を踏みにじる強権政治、公文書の改ざん、データねつ造、統計の偽装、外交副大臣の「大型公共事業にかかわる付度」発言や五輪相の「自民党議員が、復興以上に大事」発言による辞任など、安倍政権の腐敗と民主主義破壊はとどまる所を知りません。  
 こうした暴走を許しているのは、与党が衆参とも3分の2以上を占める国会での「数の力」です。7月に予定の参議院選挙では32小選挙区での統一候補擁立・立憲野党の共闘の力で、国会での力関係を変える事ができるかが問われています。市民と野党の共闘の発展で憲法9条改悪と軍事費拡大、社会保障切り捨ての安倍政権を打倒するチャンスです。  
 3月11日、福島第1原発事故から8年を迎えましたが、被災者の生活と生業の再建、被災地の復興は道半ばです。ところが国が設定した「復興・創生期間」10年の終了が迫る中、復興庁や復興特別交付金の廃止などが行われようとしており、被災者の不安が広がっています。一方的に期限を切られて被災者を切り捨てることは許されません。  
 安倍政権は、国民世論に背を向け、

財界の要望に従い、原発をベースロード電源と位置づけ再稼働に進め。さらに、温室効果ガス対策を名目に原発を発電する電力会社に対する補助金制度を創設し、その費用を電気料金に上乗せしようとしている。また、野党4党が提出した「原発ゼロ基本法案」は、1年経った今も与党が審議入りを拒否しています。

原発ゼロ・再生エネルギーへの大転換は、国際的な流れです。原発事故以降、多くの市民が「原発再稼働反対」の声をあげ、全国各地で草の根から粘り強い運動が継続しています。世論調査でも、「原発再稼働反対」は多数派です。再稼働路線の中止と原発ゼロの決断を迫る国民的な運動をさらに大きく発展させることが重要です。

(2) 軍事費増大、社会保障切り捨て、消費税増税の2019年度政府予算

3月に成立した2019年度の政府予算は、軍事費が7年連続の増の5兆2574億円、陸上配備型迎撃システム「イージス・アショア」、ステルス戦闘機F35、無人偵察機グロバルホーク等の兵器の増強と併せ「敵基地攻撃能力」を保有する布石となる長距離巡航ミサイルの取得費を計上するなど、集団的自衛権、憲法9条改正を見据えた軍拡予算となつていきます。しかも、米政府の言い値で買われる「有償軍事援助(FMS)」による高価兵器を爆買いしています。

社会保障では、10月からの導入を狙う消費税10%増税との引き換えに、4800億円を「充実」策に当てるとしています。その一方、「自然増」分は生活保護費の削減などで今回も1200億円削減され、安倍政権の7年間で1.7兆円もの削減。さらに、4月には年金の「マクロ経済スライド」による支出削減、10月には75歳以上の低所得者の医療保険料の軽減特例措置の廃止が盛り込まれています。

また、今年度予算には10月からの消費税増税が組み込まれています。しかし、実質賃金が伸びず、家計消費は低迷し、消費不況が続く中での増税は、国民の暮らしと経済に打撃を与えます。政府自身も景気への影響を恐れ、「増税対策」としてカードでの買い物に期間限定でポイント還元などのバラマキはじめ2兆円も

## 2 県知事選挙の結果と神奈川県政をめぐる動き

### (1) 神奈川県知事選挙の結果と第3期黒岩県政

4月7日投票で行われた県知事選挙で、県職労連が支持決定した岸牧

子候補は、「平和で明るい神奈川県政をつくる会」としてとりくんだ選挙としては過去最高の得票数70万91票(得票率23.7%)を獲得しましたが、黒岩知事が3選を果たしました。

この間黒岩知事は、「子どもの医療費助成の拡大はしない」「中学校給食は市町村の仕事」「高校の数は多すぎる、12年間で20校、30校削減」と、県民の願いに背を向け、中学校給食実施率や一人当たりの教育費が全国最下位など、神奈川県の実況を改善しようとしてきませんでした。また、目玉政策の未病改善のとりくみ「ヘルスケア・ニューフロンティア推進」は、先端医療産業育成をすすめ、健康寿命を延ばす為に企業の商品やサービスを買わせ、健康管理の市場化・自己責任化をすすめるものです。しかも、健康寿命は全国比較で、男女とも順位を落としています。黒岩知事の3期目の公約では、「コミュニティ再生で笑いあふれる100歳時代」の実現を最優先の政策とし、そのために未病改善・ヘルスケア政策など5つの政策をにかけていますが、今期、新たに打ち出したのが、「未来創造政策」です。

その内容を見ると、「スマートモビリティ社会、ドローン前提での未来社会創造を牽引」、「キャッシュレス都市かながわのさらなる推進」、「ビックデータ活用の神奈川県モデル」、「村岡新駅を実現し、村岡・深沢地区をヘルスイノベーションの最先端拠点に」となっており、政府・

財界の産業政策「Society 5.0 (情報社会に続く新たな社会)」を先取り的に実行しようとするものです。

自治体の役割は「住民福祉の向上」です。選挙戦で岸候補が掲げた政策の基本は、「日本国憲法」、「国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)」、「立憲野党の政策合意」です。具体的には、「全ての公立中学校完全給食を県が主導して実現する」、「基礎自治体と協力して18歳までの医療費の無償化」、「特養老人ホーム増設」、「最低賃金1500円に」、「原発・石炭火力発電NO、自然エネルギー利用の地域発電支援」、「安倍9条改憲NO」などです。知事選で掲げたこれらの要求の実現に向け、県民運動としてとりくんでいくことが求められています。

### (2) 県職員をめぐる状況

今年の知事部局の条約定数は、45年ぶりの定数増で7422名(54名増)、配分定数も74名増の738名。主な増要素は、法定定数増による児童相談所等の29名、オリ・パラ関係20名、SDGs関係9名、マグカル(マグネット・カルチャー)推進7名と、児童相談所を除けば「黒岩カラー」による事業増対応が目立ちます。県立病院機構についても、必要数2634名と昨年より11名増となつていきます。

県職労連が、残業調査等の職場からのとりくみを強め、「時間外労働の多い」職場への人員配置増も勝ち

第3号議案 2019年度予算案

2019年度 一般会計予算(案)

(2019年4月1日~2020年3月31日)

(単位:円)

(単位:円)

収 入			支 出		
項 目	予算額	摘 要	項 目	予算額	摘 要
年会費	99,000	3,000円×33人	事務局費	350,000	事務運営費
終身会費	350,000	25,000円×14人	行動費	200,000	高齢者大会・自治 労連関連
県職労連交付金	470,000		会報費	1,000,000	会報発行費
共済助成費	1,150,000	全労済事務取扱等	総会費	192,000	総会経費
雑収入	80,000	総会祝金・利息等	幹事会・事務局会議等	350,000	幹事会・事務局会議等
繰入金	450,000	積立金会計より	通信費	30,000	郵送料・振替手数料
寄付金	25,000	総会祝金・利息等	長寿祝い金等	167,000	対象者49人(3000 ×49 2000×10)
前年度繰越金	204,960		負担金	60,000	神奈川県自治労連退職者 会・手づくり文化祭
合 計	2,828,960		繰出金	350,000	積立金会計への繰出し
			予備費	129,960	
			合 計	2,828,960	

2019年度 積立金会計予算(案)

(2019年4月1日~2020年3月31日)

(単位:円)

(単位:円)

収 入			支 出		
項 目	予算額	摘 要	項 目	予算額	摘 要
前年度繰越金	15,766,606		本年度支出	450,000	一般会計長寿祝金等
本年度収入	350,500		次年度繰越金	15,667,106	
内 積立金	(350,000)	一般会計より終身 会費収入分	合 計	16,117,108	
内 利息	(500)				
合 計	16,117,106				

取っています。賃金確定では、5年連続の給与、一時金の引き上げと地域手当の引き上げ、非常勤職員の給料アップ等が図られました。県職労連が昨年9月に実施した「県政アンケート」では「県民本位の県政か」の問いに、「そう思う」「ややそう思う」が14・9%。「思わない」「あまり思わない」が45・0%でした。県職労連と連携し、県民本位の県政実現、働きやすい職場づくりのとりくみを進めていく必要があります。

II 活動の基本と計画

- 1 交流の場と仲間づくり  
(1)こだま企画「てく・テクの会」「足尾銅山鉱毒事件関連施設と世界遺産日光を訪ねるバスツアー」(9月25・26日)や、「グルメと名所めぐり」「お花見ハイキング」等を実施します。  
(2)「趣味の会」  
「俳句サークル・こだま句会」「歴史教室」「楽しい料理教室」「食文化を楽しむ会」など、会員の趣味を生

かした活動を応援します。  
(3)仲間づくり  
会員の提案を積極的に受け止め、既存の趣味の会のほかにも交流の場を増やし、楽しく実りある活動にしていきたいと思います。

2 福利厚生活動

- (1)長寿祝い制度  
対象者は77歳(1941年4月2日~1942年4月1日生まれ)の49人。お祝いのギフトカードを贈り、総会後の懇親会に招待します。
- (2)共済・保険・人間ドック  
有利で安心な火災共済、自動車共済、がん保険などの保険事業や人間ドック事業にとりくみます。

(3)相談活動

神奈川県職労連と連携して法律相談などにとりくみます。

- 3 高齢者が安心して暮らせる社会へ  
医療・福祉・介護・年金制度の改善反対や消費税増税反対、脱原発などの国民的な課題では、「日本高齢者大会」「輝け高齢期かながわのつどい」などの集会や学習会へ参加し、署名などを呼びかけます。
- 4 県民本位の県政をめざして  
県民サーピスを低下させる民営化や県民の利便性を軽視した県有施設の切り捨てなどの「行革」反対や県民要求の実現に向け、県職労連や県民連絡会と連携し、会員による地域や団体でのとりくみを支援します。

5 いのちとくらし、平和と民主主義を守る運動

(1)「戦争法」の廃止を求める行動

毎月19日の国会行動など戦争法反対関連団体主催の「戦争法」の廃止を求める行動に会員の参加を呼びかけ、当会として積極的に参加します。

(2)憲法改悪反対のとりくみ

安倍9条改憲など憲法を改悪する目論見に対して、神奈川県職員九条の会等と連携してとりくみます。また、5・3憲法集会や「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名」(3000万人署名)に引き続き参加します。

(3)民主団体等との連携

全国自治体退職者会連絡会、神奈川県自治労連退職者会、神奈川県高齢期運動連絡会などの民主団体と協力して運動に参加します。

6 「手づくり文化祭」(神奈川県自治労連退職者会主催)への参加

手づくり文化祭は、毎年10月下旬に開かれ、会員の趣味の発表の場であるとともに、他の退職者会との交流を深める場でもあります。多くの会員が出演、出品、見学できるように会報等で周知し、積極的な参加を促します。

7 会報・ホームページの充実

(1)こだま会報  
5月・8月・11月・2月の定期発行を守り、会員が主人公の楽しくわかりやすい紙面を追求します。

(2)ホームページ

イベント情報や行事の報告などを迅速に更新し、会員が気軽に身近な話題や写真の投稿ができるようサイトの充実を図ります。

8 会員の拡大と会の運営  
 (1)会員の拡大  
 県主催の退職予定者説明会や県職  
 労連各支部・分会の退職予定者との  
 集いなどで加入を呼びかけます。ま  
 た、神奈川県職労連の機関紙に入会  
 案内を掲載し、再任用・再雇用退職  
 者や管理職退職者にも案内を送り入  
 会を促します。



※「統計法に基づ  
 き…」  
 (相模原市・  
 藤原慎一)  
 「統計法に基づ  
 き国民の皆さまに  
 はご協力をお願い  
 します」(国勢調  
 査のビラより)。

来年の国勢調査などではできるだけの  
 でしょうか。調査員の一人として非常  
 に心配です。  
 ※狩猟免許を取得  
 (長野県飯山市・山本秀実)

昨年、作物を防御する目的で狩猟  
 免許を取得しました。

従来、豪雪地の奥信濃には鹿、猪  
 は生息していませんでしたが、近年  
 暖冬による少雪と不耕作地の増加等  
 で活動範囲を広げています。ジビエ  
 として近くの「道の駅」に並べるた  
 めの処理施設もあるくらいです。私  
 も先日、見様見まねで自己消費用に  
 猪の解体をしました。不慣れで大  
 変でした。ちなみに天然記念物のカ

(2)会の運営  
 毎週火曜日(10時~16時)を軸に  
 事務作業を行い、四役・事務局会議  
 を概ね月1回開催し、幹事会を「会  
 報」発送日などに開催します。  
 (第4号議案)  
**役員改正案**  
 総会当日配布します。

モシカも我が家の周りに出沒してい  
 ますが、彼らは人間を怖がりません。  
 ◆ほろ苦い春の味(二宮町・湯川勉)  
 妻が自宅近く(徒歩10分位)の吾  
 妻山に毎朝登山し、露の臺を採って  
 きて露味噌を作っています。ほろ苦  
 い春の味を賞味しています。今年も  
 きびしい冬を超えられそうです。

(訂正とお詫び)  
 前号(123号)2面の見出しと  
 本文の短歌「幕末の攘夷の風に倒さ  
 れ異人を悼む碑のあり」を「幕末の  
 攘夷の風に倒されし異人を悼む碑の  
 あり」に訂正しお詫び致します。

**お悔み申し上げます**  
 2月15日以降、事務局で把  
 握した亡くなられた会員で  
 す。謹んでご冥福をお祈り申  
 上げます。( )内は享年。  
 梅宮 敏 様 (69)  
 栗田 紹 様 (83)  
 沢村 清治 様 (94)  
 朝日 信義 様 (92)  
 山田 勝平 様 (81)  
 高梨 文美 様 (83)  
 榎本 行浩 様 (75)

**クロスワードパズルで頭の体操**

◇応募要領◇

- ①ヒント：2重枠に入った文字をAからEの順に並べてできる文字は？
- ②回答送付先：231-8588横浜市中区日本大通り1 県庁舎地下1階神奈川県職労連退職者こだま会パズル係
- ③郵便葉書に答、住所、郵便番号、氏名を記入し、7月15日までに上記②へお送りください。メールも可。
- ④賞品：正解者から抽選で5人の方にクオカード進呈します。
- ⑤発表：次号(8月15日号)

前回の答「フキノトウ」

ム	ギ	フ	ミ	マ
イ	カ	リ	ノ	ー
シ	イ	マ	チ	
キ		ア	ン	ズ
	ト	マ	ト	イ
シ	キ	リ		ア
				ウ

●当選おめでとう●

抽選で次の5人の方にクオカードを進呈。阿部六郎／小林平治／牧村正敏／山本秀実／湯川 勉(敬称略)

**答**

	A	B	C	D	E
1	2	3	4		
5			E		6
				7	D
8	9		10		
11		C		12	13 A
14			B		15

係から：回答はがきの余白に、本紙についての感想や要望、身近な話題などひとことを。「会員の広場」欄などに掲載させていただく場合があります。匿名の場合は「匿名希望」とご記入ください。

- ヨコのカギ  
 1 英国のロックバンド・クイーン  
 のヒット作『○○○○○○』  
 ラブソニー  
 百獣の王  
 ♪○○が来れば思い出す  
 低くさまよう事。『○○○○』  
 する日本経済  
 栗などの実を包むトゲの外皮  
 沖縄県の県庁所在地。○○市  
 3人称。アヤツの転  
 藤沢周平の代表作『○○しぐれ』
- タテのカギ  
 1 営利などを目的としない活動  
 に携わる人  
 甲・乙・○○・丁  
 それを見る事が最後になること  
 モンゴメリー作『赤毛の○○』  
 サバ科の海魚。『○○○○のタ  
 タキ』  
 思っていた事と実際が大きく  
 食い違う事  
 ボラの幼魚  
 鎌倉の『○○の大仏』

こだま俳壇(4月)

友がいて友と祝える喜寿の春 角田 英昭  
 何事もなかつたように桜咲く 島海 敏雄  
 柿若葉となりに赤子生まれたり 島田多嘉子  
 姿勢良き老の二人に花吹雪 松尾佐知子  
 舞い戻る燕の滑空街の絵に 後藤 貞夫  
 遠蛙つくねんと聞く休耕田 本山 文子  
 彫深き戦碑を覆ふ櫻かな 田中 一男  
 葱坊主厨の隅で顔を出し 柳瀬 節子  
 春うらら丹沢の山高くなり 白井保次郎  
 花冷えや老女の面のうつむきぬ 友井 眞言  
 百寿へとよき人生の菊の酒 三井 光子  
 本棚を眺め蛙の目借り時 木村 武子  
 青空に花びら映り門出かな 常世田芳子  
 「囁む」をやめ初蛙の声に耳すます 中村 桂子  
 悲しみが一休みする花の宴 高橋 和江  
 夕桜黒板塀に三味の音 瀧澤 正行  
 歳とるは智慧をつむこと花杏 講師・太田 土男

第68回 歴史教室 (講義)

古代のロマンに迫る

歴史教室の総会と講義が3月8日(木)、県庁本庁舎地下1階会議室で行われ、10人が参加しました。講義は、同教室副代表の吉田綾子さんのお話「古代のロマンにせまる」と題

して、田園調布に隣接した多摩川台公園の古墳群についてです。

この古墳は4世紀から7世紀につくられ、「田園調布古墳群」と呼ばれ、多摩川北岸の丘陵地帯の2キロメートルほどの間に、全長100メートル級の前方後円墳である亀甲山古墳と宝萊山古墳、それと8基の円墳が連なっており、都内では最大規模の古墳群です。隣

多摩川に古墳があった!



多摩川に隣接した丘陵が古墳群



古墳の玄室の实物大レプリカ

後円墳である亀甲山古墳と宝萊山古墳、それと8基の円墳が連なっており、都内では最大規模の古墳群です。隣

予告!! 予告!! 予告!!

●歴史教室(散策)  
 と き 5月30日(木)  
 集 合 東急東横線「多摩川駅」改札口に10時集合  
 内 容 古代のロマン「多摩川公園古墳」を歩く  
 参加費 500円(資料代・講師料・保険料など)当日徴収  
 申込先 こだま会事務所 ☎045(212)3179

●俳句サークル「こだま句会」  
 月例会(毎月第2木曜日13時~)  
 と き 6月13日(木) 7月11日(木)  
 と ころ 県庁本庁舎地下1階県労連会議室  
 指 導 太田土男先生(俳人協会)  
 会 費 800円(投句のみ500円)  
 申込先 こだま会事務所045(212)3179

●薬膳料理  
 と き 7月25日予定  
 と ころ 西地区センター予定  
 会 費 1800円予定  
 内 容 夏を乗り切る薬膳料理  
 講 師 亀井禎子会員  
 申込先 こだま会事務所 ☎045(212)3179

●てく・テクの会  
 と き 9月25日(水)~26日(木)  
 集 合 小田急「海老名」駅  
 内 容 足尾銅山鉱毒事件関連施設と世界遺産日光を訪ねるバスツアー  
 参加費 詳細は同封のチラシ参照

神奈川県職員 九条の会

一慰霊碑訪問&祈念の集い

横浜大空襲を知る

と き ●5月29日(水)  
 集 合 ●12時50分:市営地下鉄ブルーライン「阪東橋」改札口  
 内 容 ●①13時~13時20分:大通り公園内にある「横浜大空襲慰霊碑」を訪ねる  
 ②14時~16時30分:「横浜大空襲祈念の集い」(桜木町にある「横浜にぎわい座」)に参加  
 ③「集い」終了後、交流会  
 資料代 ●500円(横浜大空襲祈念の集い)  
 申込先 ●FAX045(363)6397(佐伯義郎・事務局長)

接して古墳展示室もあり、玄室の实物大のレプリカなどが展示されています。

古代の人たちがどのような暮らしをしていたのか。そんなことを想像しながら、今回の現地見学を楽しみにしています。

\* \* \*

今回の歴史教室(散策)は古墳の現地見学です。5月30日(木)10時、東急東横線「多摩川駅」改札口集合です。皆さんもぜひご参加ください。総会では、共同代表に川田勝利さん、吉田綾子さん、顧問、幹事等を選出しました。(友井眞言)

# 沖縄十七文字

## こだま句会有志吟行

俳句サークル「こだま句会」有志は、新俳句人連盟神奈川県支部の有志と合同で2月6日から9日、沖縄

吟行を実施。現地の人たちと交流を深めました。

\* \* \*

立春を過ぎてもまだまだ寒い神奈川から、一足飛びに着いた沖縄は早くも夏の気配。空港から沖縄唯一の軌道であるモノレールに乗り、ホテルまで歩く。高いビルの少ない沖縄は空が広く、見知らぬ街路樹が続く



今帰仁城址を歩く



那覇市の平和通り商店街

綺麗な街だ。

街路樹の南国めいて島の春

田中一男

ホテルに荷物を預け、さっそく町歩きに出かける。途中の小浜には、早くも水泳を楽しむ人々がいる。

春の海砂に戯るビキニの娘

瀧澤正行

先ず「不屈館」へ。ここ

は「米軍が最も恐れた男」瀬長亀次郎と民衆資料が展示してある。亀次郎は内地の人(ヤマトンチュー)にはあまり知られていないが、優れた指導者であった。米軍の策謀で那覇市長を追放され、自宅の雑貨店で饅頭を売っていた時期もある。春愉し店番楽し亀次郎

友井眞言

タクシーで壺屋焼物博物館を見学する。やちむん焼きの歴史や、さまざま

な器と釉薬の色彩を楽しむ。世代つなぐやちむん愛でて

冬うらら

角田英昭

泡盛や炎を継

ぎし壺屋焼き

友井眞言

旅はあと2日を残すが、今回はこれまでとします。

(文責：田中一男)



三線に合わせて唄う

壺屋やちむん通りから平和通りを抜け、沖縄一の繁華街の国際通りへ。行き交う人々が溢れ、陽はまだまだ沈まない。沖縄民謡の居酒屋で、沖縄自治体問題研究所の湧田事務局長を交え、名護市辺

野古の埋め立ての現況を伺い、酒宴。三線にのり、「花」(詩・曲 喜納昌吉)も飛び出す。

春の宵三線奏でる花唄う 瀧澤正行

翌日、レンタカーを運転し、名護市辺野古へと向かう。座り込みが続く「浜のテント村」で現況を聞く。

現場は遠望するだけだが、確実に海は汚染されている。

春うらら土砂の注入続きおり

田中一男

美ら海に七万の杭春寒し

角田英昭

基地ゲート前には、土地の古老たちが集まり、埋立て反対の集会をしている。毎日集まっているという。

一同並んで激励の挨拶をする。

春待つやウチナンチューは不屈なり

角田英昭

旅はあと2日を残すが、今回はこれまでとします。

(文責：田中一男)

## 絵手紙



宮澤恭子さんの作品



奥津弘久さんの作品



田中和子さんの作品